

事務事業調査 平成23年度	No 439	課名	環境クリーンセンター	起案者	杉浦雅樹
事業種別	施設管理	係名	施設係	決裁者	平岩光
事務事業名	し尿処理施設管理事業	区分	継続	業務一覧No	24, 25, 26, 27, 28, 29, 30
				他係名	
				他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 4 適正処理 2 し尿処理施設整備	予算科目(会計)		一般会計
		予算科目(款・項・目)		20-10-15
		総合計画以外の計画		
		関連する総合計画の施策		
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの(義務的)		法定受託事務	無
根拠法令	無			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開始	昭和63年度	経過	23年目
公約・議会答弁	無	終了		
陳情・市民要望	無	期間		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	し尿浄化槽を利用している市民が	～になる	し尿汚泥を安心して処理できるようになります。
事務事業の内容	し尿処理施設の運転管理及び施設の維持管理をします。			
事務事業進捗状況	下水の普及で量が減ってきています。 し尿・浄化槽汚泥搬入量: 平成20年度42,520キロリットル 平成21年度39,259キロリットル 平成22年度37,976キロリットル			
改善・対策の履歴	し尿処理施設の整備計画を見直し、適正な放流水として処理が継続できるよう予防保全を行いました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績
総事業費 f=a+d+e	260,013	228,983	218,064	188,931
財源計 a	229,893	200,369	184,179	158,811
財源の内訳				
国庫支出金	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0
市債	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0
一般財源	229,893	200,369	184,179	158,811
受益者負担金	0	0	0	0
職員人件費 d	30,120	28,614	33,885	30,120
内訳 従事職員数	4.00	3.80	4.50	4.00
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名(活動内容)	し尿処理施設運転保守管理委託業務	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	委託業務(式)	活動の総事業費f 実績	47,598	47,472	45,834	
				単位コストg=f÷b 実績	47,598.00	47,472.00	45,834.00	
	活動②	活動名(活動内容)	し尿処理施設整備	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	施設整備(式)	活動の総事業費f 実績	181,385	141,459	122,043	
				単位コストg=f÷b 実績	181,385.00	141,459.00	122,043.00	
	活動③	活動名(活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		運転ミスによる施設停止(回)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成		
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		整備した機器の故障による運転停止(回)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成		
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	し尿処理施設は汚水の浄化作業が業務であり最終目標である放流水の水質維持を法規制値数値内で処理できました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	昭和62年に竣工しており、老朽化による施設や機械の修繕費用の変動が大きいです。
	成果1,2	運転管理者との毎日の打ち合わせと定期検査により、適切な運転管理ときれいな水の放流ができました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	昭和62年の竣工施設であり老朽化しつつあることから修繕的な内容が多く、日常点検と計画的な施設整備に努めます。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	下水道の普及にはまだ長い年数を必要とされることから、施設設備の計画的な交換補修維持管理を実施することで施設の延命を図ります。